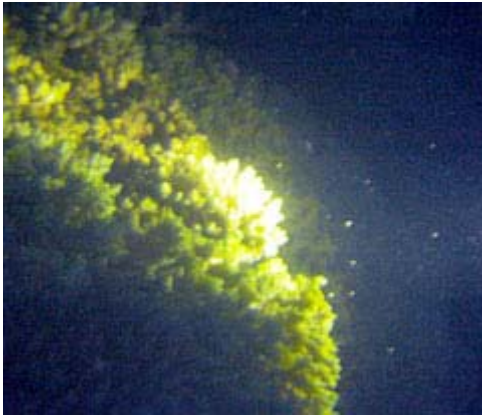


琉球新報

サンゴの産卵に歓声、児童らが観察 阿嘉幼小中学校

掲載日時 2005-7-2 11:32:00 | トピック: 地域

【座間味】座間味村立阿嘉幼小中学校(儀間盛隆校長)は6月20日、サンゴの産卵観察会を阿嘉臨海研究所と阿嘉ダイビング協会の協力を得て行った。小学3年生から6年生の17人が参加した。



神秘的なサンゴの産卵。約15分間続いた自然のドラマに児童らは歓声を上げた = 阿嘉島の海

同校は座間味村の自然環境を生かした特色ある教育方針を定めて、授業を進めている。今回はサンゴの産卵を観察することでサンゴへの関心を高め、阿嘉島の自然の良さを気付かせることが狙い。阿嘉臨海研究所職員に産卵日時を教えてもらい実施した。

この日は午後6時ごろから産卵場所付近の海浜で注意事項など説明を受けて、3班に分かれてシュノーケリング。産卵は午後8時ごろという情報があり、7時半から海に入り、しばらくして産卵が始まった。ほとんどの児童、教諭も初めて見るとあって大きな歓声を上げた。神秘的なサンゴの産卵は約15分ぐらい続き、参加者らは見入っていた。

(宮里芳和通信員)